



ごあいさつ

樹木はもうつぼみをつけて、じっと縮こまっていた草花も青々と色をつけてきました。雑草も小さな花をつけています。もう自然界は春の活動を始めています。皆様お元気でおすごしですか？

住まいづくりをしている私たちにとって季節感というのは、毎日仕事をしていて肌で感じます。時には雨に翻弄され、時には風に困難を強いられることもあります。節分を過ぎてからは寒さも和らいできました。この時期、陽射しがぼかぼかして風もなく穏やかな、春を感じる日があります。そんな日に現場で食べる弁当は格別においしくてそんな時間は至福のときとなります。

今月は小林様邸が完成しました。小林様のご家族をはじめ関係の皆様には大変お世話になりました。また、少なからずご迷惑をおかけいたしましたことお詫び申し上げます。今回の仕事について、幸甫先生の言葉は「(前より)少しましになったな。」とのこと。トホホ・・・何を隠そうそれがいまの私の実力なのです。

住まいづくりにあって、私たちのような工務店には大手住宅メーカーの対極にあるのだと思います。住宅を建てるコンセプトやアプローチに仕方が全く違うもののように感じています。住まいに有機的な感覚を求めるか否かが決定的な違いといえるかも知れません。

私は有機的な素材主義の住まいをつかっていきたいと思っています。共鳴していただける建て主様とともに・・・どうやら、自然素材によってしか「やすらぎ」のある「心が豊か」になれる住まいはつくれそうにないと思うからです。いま、素材主義、本物志向の住まいをもっとコストを抑えて建てられるようにするにはどうしたらいいか私なりに研究しています。

お酒にたとえればメーカー住宅は全国展開の有名銘柄、地域の工務店は「地酒」になりますか。おいしいお手頃な地酒をつかっていきたいと思えます。

話題は変わって、入院していたむげんさん、元気になったそうです。よかった。

皆様、春を迎えます。花粉に負けずお元気でお過ごしください。これから年度末を迎えてあわただしくなりそうです。もうすぐ花見ですよ！皆様からの投稿とお便りお待ちしております。(秋葉)

小林邸 完成です。(設計・泉幸甫建築研究所)

今回は完成した小林邸をご紹介します。幸甫先生、伊藤先生にお世話になりました。



「これは蔵のよう・・・」というのはご近所に奥様の言葉です。とってもモダンでとっても懐かしい、そんな住まいなのです。外壁の下の部分はガルバリウム、上は幸甫さんのオリジナル、左官壁です。



吹き抜けを見上げるとロフトが見えます。

二階は勾配のある天井になっていて、棟に長くて太い杉の太鼓材が横たわっています。とっても存在感がありますね。ハシゴの向うにあるのがロフトです。写真の撮影センスが悪くてもう訳なく思います。実物を見ていただくのが一番ですね。



上は杉板で張られた洗面所右は壁と天井に檜が張られた浴室。



発行者 ご連絡先 秋葉建設㈱ 秋葉 忠夫
〒289-2163八日市場市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
Eメール master@woody-akiba.com
HP URL <http://woody-akiba.com/>
(財)住宅産業研修財団・優良工務店の会QBC会員。財団では職人の技能を伝えるため、「大工塾」を創設しました。
次号も読んであげてもいいよ!と思った方、ご住所・お名前・Eメールアドレスを教えてください。ご連絡をお待ちしてますよー。